



**5/28 県立図書館誘致に
対する意見聴取**

第3回長崎県立図書館再整備検討会議が、県立美術館で開催され、誘致自治体である本市および川棚町、現在県立図書館がある長崎市の意見聴取が行われました。

本市は、候補地として大村警察署跡地周辺と市民体育館跡地の2か所を提案し、県央に位置すること、交通アクセスの良さなどの特色を示し、誘致に対する市民の熱意や読書熱が強いことをアピールしました。

今後、現地視察が予定されており、本市の利点などをアピールし、積極的に誘致に向け取り組んでいきます。



**6/4 梅雨の災害に備え
郡川を視察**

梅雨の時期を前に、副市長をはじめ、県央振興局、警察署、消防署、消防団などの関係団体が、郡川の河川状況を視察しました。

郡川の河川管理をしている県央振興局から、河川・堤防の管理状況の説明を受けるとともに、インターネット上で情報を提供している「長崎県河川砂防情報システム」の水位テレメーター（鬼橋水位局）の現地視察も行いました。

最後に、今年の梅雨から台風シーズンまでの関係機関相互の連携強化を再確認しました。



**6/22 競艇発祥の地で
55年ぶりのSG開催**

競艇界の最高峰レースであるSG（スペシャルグレード）レース「第20回グランドチャンピオン決定戦」が、6月22日から27日まで開催され、初日に行われた開会式では、松本崇市長が開会を宣言しました。

「競艇発祥の地」大村でのSGレースは、55年ぶりで、現行のグレード制導入後は初めての開催となりました。

最高峰のレースを一目見ようと、県内外から、6日間で約4万2千人が訪れ大村ボートレース場は大盛況。その効果は地元経済へも波及しました。



**6/30 行政改革懇話会
委員に委嘱状交付**

第五次大村市行政改革大綱（平成23～27年度）を策定するに当たり、市民サービスのあり方や財政効率の向上などの具体的な施策に関する提言を得るため、市内外の有識者や市民公募の14人からなる「大村市行政改革懇話会」を設置しました。

市長から委員へ委嘱状を交付した後、第1回目の会議が開催され、市の行政改革の進捗状況や財政状況について、意見交換が行われました。今後、市勢を活性化させるための具体的な施策について協議を重ね、9月頃に同懇話会としての意見をまとめ、市長に提言することになっています。



**7/5 県知事に
要望書を提出**

松本市長、廣瀬市議会議長をはじめ地元選出県議会議員、市議会議員などが県庁を訪れ、県の施策に関する市の要望 提案書を中村知事に提出しました。

今年の要望・提案の内容は、①県立図書館の新設・移転②新たな県営工業団地の造成③JR大村駅バリアフリー化施設整備事業④都市計画道路の早期整備と県道認定⑤郡川改修事業促進⑥九州新幹線西九州ルート整備促進⑦国道34号拡幅事業促進⑧長崎空港A滑走路周辺地域の航空機騒音対策⑨農業振興地域外の平坦地への補助⑩「さくらの街おおむら」の推進支援の10項目。

中村知事は「都市計画道路池田沖田線（竹松上区）については、国の事業認可が得られ次第、事業に着手したい。県道認定については前向きに検討したい。」などの回答がありました。